

9月は防災月間

防災について考えてみましょう

自然災害は突然…

7月1日(土)23時45分。安平町を震源とする震度5弱の地震が発生しました。

震源は、胆振地方中東部(厚真町との境界付近)で地震の規模を示すマグニチュードは5.1と発表。その後も2週間ほど、震度2程度の余震が続きました。

町は、7月1日の地震発生後ただちに関係職員を参集し、被害状況の把握などの情報収集に努めました。

壁の一部損壊や商品落下等の被害がありました。幸い人的被害や家屋の倒壊、道路・電気・水道等ライフラインの被害は無し。住民の方に避難していただく事態とまではありませんでした。

裏を返せば、被害がほとんどなかったため、職員や情報収集がスムーズに出来たとも言えます。

もし、被害が甚大で役場庁舎そのものが倒壊したり、職員や家族が被災した場合は、役場の機能を発揮するまでに相当な時間を要することになります。そうなれば、避難所

の運営も地域住民の方に行っていただくことになるかもしれません。

さらに、安平町のみならず、近隣の市町村が同時に被災した場合は、国や道の支援を受けられるまでも、相当な時間を要することになると想像できます。

そんな時、大きな力を発揮するのが自主防災組織です。やはり、自分の身は自分で守ること、そして近隣住民の助け合いが人命を救う上で大変重要なものになります。

国や道、そして町が自主防災組織の結成を呼びかけている理由は、災害発生時は地域住民の方の力も重要と考えているところにあります。発生するかしないかわからないからこそ、準備そして対策を講じていきましょう。

危機管理の基本

危機管理の基本は、「危機の予測」です。これを家庭の防災に当てはめると、身の回りにおける危険を予測するということになります。

防災月間を機に、ハザード

マップ等を活用し、浸水想定区域や土砂災害危険箇所等を確認する等地域で起こるかもしれない災害を予測し、避難所や避難経路の確認や家庭内食料備蓄、地震に備えた家具の固定等の対策を講じましょう。

自主防災組織をつくりましょう

～全自治会・町内会等での結成をめざして～

自主防災組織は、平常時は防災知識の普及や防災訓練、防災資器材の整備等を行い、災害時は情報の収集・伝達、避難誘導、救出・救護等の活動を行う自助・共助を強化する組織です。

東日本大震災においても、安否確認や避難誘導、避難所運営等で活躍したと言われていています。現在、安平町には34の自治会・町内会があり、その中の17の団体で自主防災組織が結成されています。

組織の結成は難しいことはありません。安平町の全自治会・町内会等での結成を目指しましょう。

設立に向け確認したいことや相談、説明を受けたいなどありましたら、総務課情報グループにお問い合わせください。

問合せ 総務課情報グループ ☎ 2511

